

週報①

広島市医師会臨床検査センター受託分
感染性胃腸炎検出状況

検出菌 ウイルス	2024年							2025年												
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月 ~2日	11月 ~9日	11月 ~16日
カンピロバクター	50	39	41	50	50	37	36	18	14	38	22	23	36	38	43	27	27	6	5 (7)	5
病原性大腸菌	76	83	70	86	49	46	33	23	107	90	91	71	93	78	97	83	48	10	10 (12)	9
腸管出血性大腸菌	2	1	6	2	0	1	1	0	0	1	0	2	3	3	2	0	1	0	0	0
サルモネラ	8	12	29	13	12	7	6	1	3	8	3	6	11	12	11	11	1	0	0	0
黄色ブドウ球菌 MSSA	21	11	17	24	5	6	4	14	15	6	8	9	16	8	28	10	20	2	2	1
黄色ブドウ球菌 MRSA	10	8	6	21	12	8	13	9	9	14	13	9	11	5	16	10	10	4	2	1
腸炎ビブリオ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
その他	3	1	5	1	2	0	1	0	3	2	1	1	1	2	2	2	1	0	0	0
ロタウイルス	1	0	0	0	0	0	0	2	8	9	10	1	0	0	0	0	0	0	0	0
アデノウイルス	0	0	1	0	1	0	0	1	3	4	4	2	1	1	0	0	0	0	2	1
ノロウイルス	0	1	1	1	0	0	0	0	11	37	10	6	2	2	0	3	0	1	0	0

()は前回集計後に新たに検出された件数を含めて表示しています。

週報②

広島県感染症・疾病管理センター(ひろしまCDC)
感染症週報

令和7年第46週(11月10日~11月16日)

2. 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
一類	0	発生なし	0							
二類	9	結核	9		1	4	1	1		2
三類	1	腸管出血性大腸菌感染症	1					1		
四類	1	日本紅斑熱	1			1				
五類	46	急性脳炎	1					1		
		侵襲性肺炎球菌感染症	1			1				
		梅毒	7			1	1	4		1
		百日咳	37	2	16	2		6	1	10

注) 西部…大竹市、廿日市市、府中市、海田町、熊野町、坂町、安芸高田市、安芸太田町、北広島町、江田島市
東部…三原市、尾道市、世羅町、府中市、神石高原町西部東…竹原市、東広島市、大崎上島町
北部…三次市、庄原市● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>

週報③

広島市感染症対策協議会・広島市感染症情報センター 広島市感染症週報

令和 7年46週(11月10日～11月16日)

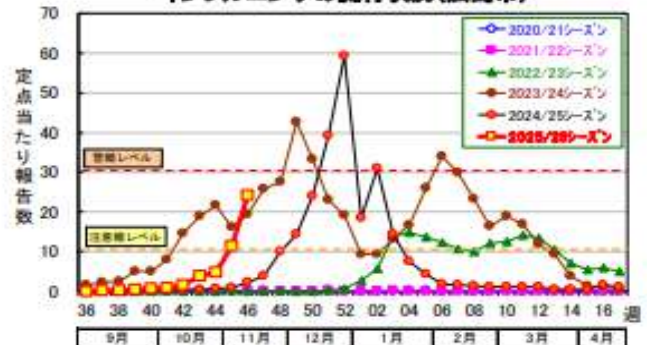
■コメント

1 インフルエンザ

定点当たり24.11人の報告があり、前週の約2.1倍に増加しました。県内では、11月13日に「インフルエンザ注意報」が発令されました。また、インフルエンザ様疾患による学級閉鎖等が第46週に36件報告され、今シーズンの累計は66件となりました。手洗い、咳エチケット、適度な湿度の保持、換気などの感染予防対策を徹底しましょう。また、症状などからインフルエンザが疑われる場合は、早めに医療機関を受診しましょう。

迅速診断キット検査結果(市内2か所の協力医療機関による)
第46週 A型:180人、B型:0人

インフルエンザの流行状況(広島市)



2 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

定点当たり3.91人の報告があり、増加しています。感染経路は、飛沫感染や接触感染で、2～5日の潜伏期を経て、突然の発熱、のどの痛み、全身倦怠感、莓舌などの症状が現れます。手洗い、咳エチケットなどの感染予防対策を心がけましょう。

3 マイコプラズマ肺炎

定点当たり2.83人の報告があり、多い状況が続いています。手洗いの励行、咳エチケットなどの感染予防対策を心がけましょう。

■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	過去5年間(注)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	過去5年間(注)	発生記号
ARI	急性呼吸器感染症(ARI)	2971	84.89			小児科	突発性発しん	3	0.14	0.28	
	インフルエンザ	844	24.11	4.34			ヘルパンギーナ	-	-	0.31	
	新型コロナウイルス(COVID-19)	23	0.66				流行性耳下腺炎	-	-	0.02	
小児科	RSウイルス感染症	11	0.50	0.09		眼科	急性出血性結膜炎	-	-	-	
	咽頭結膜熱	7	0.32	0.99			流行性角結膜炎	17	2.13	0.68	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	86	3.91	1.64		基幹	細菌性髄膜炎	-	-	-	
	感染性胃腸炎	98	4.45	3.72			無菌性髄膜炎	-	-	-	
	水痘	4	0.18	0.17			マイコプラズマ肺炎	17	2.83	1.93	
	手足口病	6	0.27	0.96			クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	
	伝染性紅斑	6	0.27	-			感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	

急増減 ↑ 前週と比較しておおむね1.2以上の増減

増減 ↑ 前週と比較しておおむね1:1.5～2の増減

微増減 ↑ 前週と比較しておおむね1:1.1～1.5の増減

横ばい → ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

急性呼吸器感染症(ARI)定点数(内科・小児科)	35
小児科定点数	22
眼科定点数	8
基幹定点数	6

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	1	103	90歳代・市外
3	腸管出血性大腸菌感染症	1	29	10歳代・O103
5	急性脳炎	1	8	10歳代
5	梅毒	4	135	20歳代・3人、50歳代・1人
5	百日咳	6	1011	10歳未満・2人、10歳代・2人、30歳代・2人